



Press Release

北海道標津町

令和7年10月7日

**北海道標津町の地域の魅力を全国に！
クラウドファンディング型ふるさと納税で寄附の募集を開始します
～鮭のまち・標津町からの挑戦「全国へ発信するガイドブックづくり」～**

北海道標津町（町長：山口 将悟、以下「標津町」）は町の魅力発信の更なる推進を目指し、本日令和7年10月7日よりクラウドファンディング型ふるさと納税で寄附の募集を開始します。

このプロジェクトはふるさとチョイス (<https://www.furusato-tax.jp/gcf/4307>) にて寄附を募集し、4,600,000円を目標として令和8年1月4日までの期間限定で実施します。

私たちが直面する課題

標津町（しべつちょう）は北海道東部に位置し、世界遺産・知床と日本最大の砂嘴・野付半島に囲まれた自然豊かなまち。漁業・酪農業を中心とした食の生産のまちであり、中でも鮭漁は1万年前から行われていたことが分かっている「鮭のまち」です。

かつては日本一の漁獲量を誇った鮭漁ですが、近年は漁獲量も減って「鮭のまち」としての知名度も年々低下。北海道内でも「標津ってなんて読むの？」と聞かれてしまうことも。

しかし標津町には、長年わたって育まれてきた鮭を中心とする食文化をはじめ、知られざる魅力がたくさんあるのも事実です。

そこで、これまでになかった「これを読めば標津町のことがわかる！」ようなガイドブックの作成や、2020年から遠隔連携を続けてきた福岡県の西南学院大学の学生さんとの連携でデジタルネイティブ世代の発信力や発信力を活かした情報発信など、全国の方に「標津町」を知っていただく取組みを進めていきます。

今後の展開

このプロジェクトにより、標津で育まれてきた鮭文化や歴史を全国に知っていただくこと、学生との連携により若者が地域と関わるきっかけをつくることを通して、まちの誇る食文化などの魅力を次世代に引き継いでいくことを目指しています。

クラウドファンディングの返礼品



ご寄附いただいた方へは心ばかりですがお礼の品を送らせていただきます。「鮭のまち」標津町が自信をもってお送りする鮭やいくらをはじめ、魅力的な「食」を中心に標津町自慢の品をご用意しております。

標津町長 山口 将悟のコメント

標津町は、雄大な自然と豊かな漁業・酪農業に支えられたまちです。

かつて日本一の鮭のまちとして知られていましたが、その認知度は低下しつつあります。

私たちはこのプロジェクトを通じて、標津町の誇りを未来につなぎ、町民の笑顔が輝き続けるまちづくりを進めてまいります。

ぜひ皆さまの応援をよろしくお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先

標津町企画政策課ふるさと納税担当

TEL：0153-85-7240

Mail: furusato-ouen@town.shibetsu.lg.jp